



水口新聞店杯スキー大会



▲タイムを競い滑走する選手

2月15日、町民スキー場で「水口新聞店杯スキー大会」が開催され、スキー少年団のメンバー12名がタイムを競いました。当日は暖気と小雨によりゲレンデの雪が緩み、11日の天塩町スキー大会と比べて全体的にタイムが伸びにくい結果となりましたが、選手たちは今シーズン最後の大会を全力で楽しんでいました。

【結果】グループA（5・6年生）
1位…合田紬さん、グループB（3・4年生）1位…合田紗さん、グループC（1・2年生）1位…後藤直夢さん



楽しく対局 健康麻雀大会



▲和気あいあいと対局を楽しむ参加者ら

2月14日、天塩町社会福祉協議会主催による「第11回健康麻雀サロン大会」が町老人福祉センターで開催されました。頭を使い、仲間との交流も楽しめる麻雀は近年、認知症予防の効果が注目されています。参加者は4卓に分かれ、50分の制限時間を設けた対局を3回行って獲得点数を競いました。麻雀をやったことがない初心者はいんストラクター卓で遊び方を教わりながら対局を楽しみました。

【結果】1位…菅井愛子さん、2位…稲垣國男さん、3位…来田和雄さん



2月21日、天塩中学校で「町おこしイベント」が開催されました。このイベントは「総合的な学習の時間」の一環として、1年生が主催となって企画・準備・運営を行いました。午前は「学校かくれんぼ」「天中逃走中（鬼ごっこ）」、午後からは教室を真つ暗なお化け屋敷に仕立てた「学校肝試し」のほか、手作りの輪投げやストラックアウトなどのミニゲームを楽しめるコーナーや、懐かしのレトロゲームやアナログゲームで遊べるカフェも設置。町内外から120名以上の来場があり、終了時間の15時まで校舎内は賑やかな雰囲気になりました。

天中生企画の町おこしイベント





海難事故死ゼロ9000日を達成



▲表彰状と盾を掲げる長尾支所長（左）と菅井理事（右）

北るもい漁業協同組合天塩支所は、昨年12月6日をもって「海難事故死ゼロ9000日」を達成し、2月26日に公益社団法人北海道海難防止・水難救助センターから表彰を受けました。今回達成した9000日というのは、約24年7か月という長期間です。天塩支所では救難訓練や心肺蘇生を学ぶ講習の受講にも取り組んでおり、菅井好文理事は「水難事故がないことが何よりの願い。いつ事故が起きても救助に行ける体制を整えていきたい」と安全への思いを語りました。



冬季特別術科訓練納会



▲力強い掛け声が響いた剣道の試合

2月20日、天塩警察署で「冬季特別術科訓練納会」が実施されました。冬季特別術科訓練は、職務を執行するに際して必要な気力・体力の錬成と技術の向上を目的として、剣道・柔道・逮捕術の各訓練を集中的に実施するものです。訓練の最終日となるこの日は天塩警察署協議会の委員らを招き、剣道と柔道の試合を開催。緊張感のある試合が繰り広げられ、続いて開催された第4回天塩警察署協議会で宇野会長は「今後も鍛錬を続けていただき、地域の安全・安心のために引き続きよろしくお願ひします」と激励しました。



老人クラブでモルック大会



▲大会に参加した皆さん

3月10日、老人福祉センターで「マスカットサイダー杯モルック大会」が開催され、老人クラブのメンバーら25名が参加しました。モルックはフィンランド発祥の軽スポーツで、シンプルなルールのため誰でも気軽に楽しむことができます。好投を見せた人には拍手が送られ、狙いを外してしまった時もみんなで大いに盛り上がりました。この日は令和7年度のチャンピオンが決定し、5位までの方に賞品が贈られました。8年度は毎月開催される予定です。初めての方も挑戦してみたいかがでしょうか？



はまなす学園大学卒業・修了式



▲西村教育長から証書を受け取る卒業生

3月6日、社会福祉会館でははまなす学園大学の卒業・修了式が執り行われ、11名の学生が各課程を卒業しました。7年度は福祉会館と歴史資料館前の花壇整備、町議会議員との懇談会や議会定例会の傍聴、札幌・小樽方面への修学旅行、仮装盆踊りへの参加、小学生のお子さんがある家庭との餅つき交流会など様々な活動を行いました。西村教育長は「大学での学びをきっかけとして、趣味を広げたり、健康づくりに取り組まれたりして、より一層の明るく豊かな生活に結び付けていかれることを期待しています」と式辞を述べました。